

北高同窓会だより

KITA HIGH SCHOOL OB. OG. NEWS

発行 名古屋市立北高等学校
同窓会編集委員
発行日 2020年3月2日
編集責任者 会長 山本裕康(4回生)
同窓会事務局(北高校内) 担当 川口真司
TEL 052-901-0338

Vol. 32 ※この同窓会だよりは、北高等学校同窓会編集係が、名古屋市立北高等学校並びに在校生、卒業生のご協力を得て編集発行しています。

新しい時代を生きる後輩へ

同窓会会長 山本裕康(4回生)

北高校同窓会々員の皆様には、日々お元気ですますますご活躍のことと思います。

この度卒業された55回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、令和の元号となって初めての卒業生です。卒業と同時に同窓会に入会となります。皆さんの入会を心から歓迎いたします。保護者様をはじめご家族、恩師、先輩や同輩後輩など、あなた方を育み導いて下さった方々への感謝の気持ちをいつまでも忘れないようにして下さい。

昨年は、スーパー台風が関東地域を始め各地で猛威を振るい、堤防決壊による浸水など自然災害の怖さを再認識させられた一年でした。被害に遭われた皆様方にお見舞い申し上げますとともに一日も早い復旧をお祈りいたします。

明るい話題と言えば、天皇陛下が即位され、令和の年が始まったこと。リチウムイオン電池の開発で天野教授がノーベル化学賞を受賞されたこと。ラグビーのワールドカップで日本がワンチームとなり初の決勝に進出したことなどでしょうか。

経済面では、米中の貿易戦争により世界経済に暗い影を落としています。我が国の経済もなかなか回復せず、2%成長は達成できそうにもありません。英国のEU離脱も合わせると今年も予断を許さない状況が続くそうです。

政治面では、昨年は県知事選挙・地方議員選

挙・参議院選挙等が実施され、自民党がひとり勝ちの状況です。一強であるゆえに驕りが気になります。また、コロナウイルスによる肺炎が心配されます。一刻も早い収束が望まれます。このような中、今年はオリンピック・パラリンピックが開催されます。気候的には大変暑い中での開催ですので、選手・観客とも健康に注意が必要です。

さて、最近、仕事の関係での挨拶は人手不足の話題が多くなりました。全国各地どこでも非常に深刻な問題です。超高齢化社会となり、生産年齢人口の減少が大問題となっています。2025年・2040年・2060年と年を経る毎に問題がより深刻になって行きます。皆さん方若者への負担が大変危惧されます。働き方改革が進められる中、外国人労働者の力を借りることがますます増えると思われます。お互いを思いやり共存共栄が必要です。

科学技術の進歩により環境や諸問題への対処は改善できると思いますので、各自の夢に向かって一つ一つ努力されることを願います。卒業生の皆さんに多いに期待します。

最後に、毎年お願いをしていることがあります。同窓会活動をより活性化させるために皆様方からいろいろなアイデアや提案をいただければと思います。個人情報保護の兼ね合いで情報発信が難しい状況になっていますが、今後とも、ご理解・ご協力・積極的なご参加をお願いするとともに、同窓会会員の皆様のますますのご健勝ご活躍と母校北高校の発展、隆昌を祈念し、ご挨拶と致します。

令和元年度卒業生対象の行事

(令和2年同窓会若者のつどい)

令和2年8月22日(土) 14:00~16:00

場所: 吹上ホール

詳細は後日ハガキにて連絡します。

楽しい企画が一杯ですので参加して下さい。無料抽選会では豪華景品が当たります。新卒業生はご予約を!(クラス幹事の方に実行委員をお願いします)

音楽部定期演奏会

令和2年3月31日(火) 18:00 開演

名古屋市東文化小劇場

入場無料(要整理券)

問合せは名古屋市立北高等学校音楽部まで

電話 052-901-0338

国際理解教育の充実に向けて

校長 加藤 裕 司

名古屋市ではこれまでの市立高校生徒の海外派遣事業を拡充して、すでに派遣を行ってきた、オーストラリア、フランス、ドイツ、マレーシアに加えてイタリアが新たな派遣先として増枠され、派遣人数も約2倍の100名としました。本校でも、オーストラリアに3名、イタリアに3名を派遣するなど、現地の学校での交流活動や授業を経験したりホームステイを通して他国の文化を学んだりするなど貴重な経験を得る機会となっています。

また、今年度7月には新たに移転新築した教育館に、グローバル人材の育成を目指したグローバルエデュケーションセンターが開設されました。本校では希望者が「UCLAグローバルクラスルーム」へ参加したり、国際理解コースの1、2年生の生徒全員が2.5日のプログラム「グローバルワークショップ」へ参加したりしました。少人数で外国人講師を囲んでの英語によるグループワークやディスカッション、意見発表など校内では経験できない貴重な学びの場となっています。

本校の国際理解コースが設置されて5年目を迎えていますが、校内での取り組みの充実はもちろんのこと、外部の力を活用しながら着実に国際理解教育推進の歩みを進めて来ています。今後は国際理解コースの良いところを普通コースの生徒に波及させていくことが課題となっています。

ところで、4月からユネスコスクールの指定を受けてユネスコ委員会が活動しています。「誰も取り残されることのない公平な世界を実現する」ために国連が2030年までに達成を目指す17の目標SDGsを意識して、「小さなことから何かをはじめること」が動き出しました。すべての生徒や教職員がユネスコスクールとしての責務が果たせるように取り組みを進めていきたいと思えます。

未来を担う北高校の生徒が、生き生きと充実した人生が過ごせる礎を本校で築いていけるよう、教職員が力を合わせてこれからも取り組んでいきます。

特色と魅力ある北高校

教頭 久野 靖 浩

今年度、北高校に赴任しました、久野靖浩と申します。普通科でありながら特色ある北高校の活躍の一部をご紹介します。

国際理解コースでは2回目の卒業生を輩出し、卒業後それぞれの場所から活躍の声が聞こえてきております。某大学の国際系学部教授の話によると、本校卒業生はアクティブラーニングが主体の授業が展開される中で、積極的にファシリテーション役を買って出て、授業の活性化に大いに貢献してくれており、学びの質の向上の一翼を担い、大学にとっていなくてはならない存在になっているということでした。開かれた国際理解教育のもと、鍛え上げられた実践力が今後も存分に発揮されていくことが期待されます。

地域連携では、音楽部が4月に第70回全国植樹祭式典音楽隊として、天皇皇后両陛下が見守る中、若者らしく声高らかに歌ってきました。さらに、9月にはナゴヤドームにおいてプロ野球中日ドラゴンズ主催の公式戦試合前に、ベンチ前で選手スタッフが整列し厳粛な雰囲気の中、ホームベース付近で国歌を堂々と斉唱してきました。また、美術部は『交通事故死0（れい）・児童対象犯罪0（れい）・官民一体となった輪（わ）を築く、北区「れいわ」活動』の一環として、北警察署からの依頼を受け北区「れいわ」ポスターを制作し、北警察署長より感謝状、北区長より記念品が贈呈されました。ポスターは北区内で900枚張り出されています。

現在、『北高校の夢実現応援事業』と題しまして、学校ホームページに掲載されております取り組みについて、賛同していただける方からの寄付を募っております。今年度、過分なる寄付をいただきまして、来年度マレーシアからの高校生を受け入れ国際交流のイベントを企画中です。来年度以降も継続していく予定です。今後ともご支援よろしく願いいたします。

高校生になって

第55回卒業生 太田 雪乃

高校生になって「良かったこと」も、「嫌になったこと」も沢山ありました。そんな私の高校生活をこの場を借りて振り返りたいと思います。

まず、一年生。知らない人たちが沢山いる中、「これからちゃんとやっていけるのか」「友達ができるのか」など不安でいっぱいでしたが、日々の生活や学校行事、部活動などで多くの友達ができ本当に充実した一年間になりました。

次に、二年生。高校生の修学旅行とともなると今までより自由に行動できる時間が多く、友達とたくさん貴重な経験ができました。厳島神社のおみくじで凶を引いたのも今では良い思い出です。

そして、三年生。部活動を引退したことで今までよりも時間ができましたが、その分考えなければいけないことが増えたように思います。「今の自分はどんな人なのか」「今まで何があって何を感じたのか」「自分は何をやりたいのか」「何になりたいのか」「そのためには何が必要なのか」。こうして改めて自分自身を見つめ直すと、まだまだ理解できていない

ことが沢山あったのだと痛感しました。

長かったようで短かった三年間。苦しくなることや、辛くて泣きそうになる時もありました。でもそれ以上に楽しいことや嬉しいこと、幸せだと心から感じられたことがありました。私はそんな沢山の思い出をくれた北高校、そしてそこで出会った人たちが大好きです。

さて、これから私たちはそれぞれの道に向かって進んでいきます。時には不安に思うことや、辛く苦しむこともあるのではないかと思います。それでも今までの思い出を胸に、それぞれの目標に向かって生きていきます。お世話になった先生方、青春を共にした友達、学校生活を共にした仲間、そしてこれまでずっとそばで支えてくれた家族、本当にありがとうございました！



国内修学旅行

1日目の平和学習、2日目の厳島神社見学とクラス別研修、3日目の班別分散研修でたくさんの思い出ができました。

名古屋北高、ありがとう！

(第12回生 県議会議員事務局) 吉田 留美子

第55回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。私は12回生なので、みなさんより43年も前になります。その頃高校入試は学校群制度で、北高は3群（旭丘-北）と4群（北-名古屋西）でした。私は旭丘に行きたかったので3群を受験しました。その年の3群は願書受付から入試、合格発表すべて北高で行われ、合格して振り分けられた結果、旭丘には一度も足を踏み入れることなく高校生活が始まりました。

最初は登校するのも嫌で、家へ帰れば愚痴ばかりでしたが、せっかく入学できたのにこれではいけないと思い、すべて前向きに考える努力をしました。その結果1学期が終わるころには高校が大好きになっていました。夏休みにはクラスでキャンプに出かけたり（もちろん担任の先生も一緒です）、体育祭・文化祭の縦割りで先輩方とも親しくなれたりとおもしろいことばかりでした。こんなに

自由で楽しめる高校は他にはないのではと思うほど楽しい思い出しかありません。高校3年間本当にエンジョイしました。それは北高の自由な雰囲気にも他ならないと思います。また先生方も友達のように話やすく、大変お世話になりました。

12回生は卒業して40年以上たちましたが、今でも毎年新年会等で顔を合わせています。恩師も参加してくださっています。還暦も過ぎ、世間から見ればいい歳のおじさん・おばさん（お爺さん・お婆さん？）ですが、集まったときは全員童心に帰ってとてもにぎやかで、まるで高校時代にタイムスリップしたみたいです。今までで一番楽しかったのは高校時代だと思っているのは私だけではないかもしれません。今の私がいるのは北高のおかげです。

卒業生が集まる「若者のつどい」にお手伝いを兼ねて参加していますが、みなさんの笑顔を見ると自分の高校時代を思い出します。これから先色々な事があると思いますが、高校時代を忘れることなく前向きに進んでいってください。

ぜひともご参加ください。同窓会の主な活動と今後の方針

一 5年に一度の「総会・行事」の開催の見直し
北高卒業生を対象として、5年毎に開催してきましたが、約10年毎に変更します。
50周年記念総会・行事は平成24年(2012年)11月に開催しました。

二 毎年夏に「若者の集い」の開催
新入同窓会会員を中心にして、記念総会実施年を除き、毎年開催しております。
新同窓生の実行委員が中心となった気軽に参加できる集いです。今年は8月22日(土)に開催します。

三 同窓会名簿の作成と住所管理
全同窓生の住所・電話番号を調査し、住所変更についても、定期的な調査をし、コンピューターで管理し正確性の維持に努めています。編集は業者(㈱サルト)に依頼しています。

四 同期会活動の援助
同期会の活動を活発化してもらうために、開催に向けての相談などを北高事務局経由で同窓会理事が受けています。

五 「北高同窓会だより」の発行
年1回の定期発行。内容は会長あいさつ、活動報告、卒業生からの寄稿、現在の北高の話題などです。同期会などにもご利用ください。詳細は北高事務局までお願いします。

六 役員会議の開催
同窓会活動を進めるため年数回役員会議を実施しております。10数名の役員さんが集まり、北高校の先生、或いは相談役の恩師等を交えて、毎回2時間程度活発な企画協議をしています。
役員会への参加は、ご都合のつく範囲で結構です。多くの世代から役員会参加を期待しますので、お気軽に問い合わせください。お待ちしております。

七 同窓会役員の募集
幅広い年齢層の同窓会役員を募集しています。是非、ご協力ください。

写真で北高点描

高校3年間でいろいろな活動を通して、生徒たちは成長していきます。先輩諸氏もこれらの写真で北高を懐かしみ、同窓会活動に多くの方が参加されることを期待します。



野 外 合 宿 (稲武)

高校生活で最初の宿泊行事。キャンドルファイヤーやデイキャンプなど、ふだん学校では経験することのできない活動の中で、クラスメイトと共同生活を送りながら、お互いの新たな面に気付き、より良い人間関係を築き上げていくことを学びました。

体 育 祭

6月に実施された体育祭。白熱したトラック競技、クラスで一致団結した大縄跳び、お揃いのクラスTシャツをユニホームにして、自分のクラスやブロックに声援を送りました。また体育祭有志応援団も復活し徐々にその活動も定着しつつあります。



北区「れいわ」活動

交通事故や犯罪を減らすため北警察署からの依頼で美術部が啓発ポスターを作成し、北警察署長・北区長・名古屋高速道路協会理事長・北区交通安全協会会長から感謝状を贈呈されました。また北警察署と愛知県トラック協会がカーマ21名古屋城北店で行ったファイナル作戦出発式では一日女性警察官としても活動しました。